

報道各社御中 ← 環境省広報室

滋賀県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急調査チームによる調査の結果について（H29.1.27 19：30）

滋賀県草津市において1月4日に回収されたオオバン1羽から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、1月25日（水）から1月27日（金）に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況等の調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

○1月25日から27日にかけて、滋賀県草津市の発生地点周辺半径10km圏の野鳥監視重点区域内の、渡り鳥の飛来地等の計18地点において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。野鳥の大量死は認められなかった。

○調査チーム派遣期間内に野鳥監視重点区域内において、調査チームに同行した滋賀県が回収した野鳥死亡個体1体（オカヨシガモ）について、簡易検査陰性であり、現在、国立環境研究所にて遺伝子検査中である。

（参考）

○観察された鳥類 60種

うち、リスク種1 4種（キンクロハジロ、オオタカ、ノスリ等）

リスク種2 11種（マガモ、ホシハジロ、オオバン等）

リスク種3 15種（コガモ、ヒドリガモ、カワウ等）

○滋賀県により回収（25日）された死亡個体

リスク種3 オカヨシガモ 1体（遺伝子検査中）

*本調査結果は暫定値です。

*リスク種とは：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、滋賀県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。 (http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成29年1月27日（金）
自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室
直通：03-5521-8285
代表：03-3581-3351
企画官：東岡 礼治（内線6475）
鳥獣専門官：根上 泰子（内線6676）